

第213回教員会議・第120回研究科委員会議事要録

日時：平成27年4月8日（水）13：30～15：30

場所：後援募金記念棟 会議室1-2

教員会議に先立ち、4月1日に着任した4名の教員の自己紹介があった。

教員会議後に、学生総合相談室カウンセラーより「『教職員のための学生対応ハンドブック』のポイント」、アクセシビリティ支援室助教より「アクセシビリティ支援室について」の説明が実施された。

議題

◆教員会議◆

[審議事項]

1. 学類長

(1) 名誉教授の称号授与について

回収資料に基づき、3月末で定年退職した石原先生・金澤先生・横山先生に名誉教授の称号を授与したい旨が説明され、理工学類として学長に推薦することが了承された。

(2) 放射線対策科学専修プログラムの履修基準について

資料1に基づき、放射線対策科学専修プログラムについて説明され、了承された。

本プログラムは理工学類独自のものであり、放射線取扱主任者の資格が取得できるレベルの人材育成を目指したものである。平成27年度入学生より適用となる。新設する自由選択科目：「放射線科学」は平成29年度より開講予定である。

高員准教授より放射線科学や廃炉支援に関する全学的な研究教育支援体制について補足があり、教務委員長より学習案内への掲載内容や学生向けの周知方法などの補足があった。

2. 教務委員会

(1) 平成27年度非常勤講師計画について

資料2に基づき、非常勤講師計画について説明され、了承された。

3. 共通教育委員会

(1) 平成27年度共通領域科目非常勤講師計画について

資料3に基づき、非常勤講師計画について説明され、了承された。総合科目：「水・土地の汚染と私たちの健康・生活」の講師を担当する元実践教育推進センター特任教授（福島大学名誉教授を除く3名）の経歴が回収資料で紹介された。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 学生の休退学について

休学1名、退学10名について、報告された。

退学者が多いのではないかとの発言があり、例年と大差ないとの発言もあった。

(2) 平成27年度研究室配属ガイダンスについて

4月15日に行われる研究室配属ガイダンスについて、当日の配布資料（資料4・5）を用いて報告された。

今年度より希望研究室の事前の調査を廃止したことに伴い、学生が情報不足に陥らないよう支援することが要請され、学生側から要望があった場合には教務委員会が丁寧に対応する旨の回答があった。

(3) 新2年次生の専攻配属について

資料6により、専攻配属結果が報告された。

専攻希望届の未提出者の取り扱いについて質問があり、未提出の場合は空きがある専攻に配属する旨が事前に説明されているとの回答があった。未提出者は休退学につながっていく可能性があるため、注視していくように要請があった。

教員数の変更に伴い、専攻毎の学生定員をどうするのか、今後検討していくとの発言が学類長からあった。

(4) 第133回教務協議会について

- 1) 平成27年度非常勤講師計画について
- 2) 前年度の引継ぎ事項と次年度の検討課題について
- 3) 教務協議会規程の改正について
- 4) 平成26年度後期不服申立について
- 5) 平成27年度開講科目シラバス登録状況について
- 6) 自己学習プログラム（震災ボランティア）について

資料7～12を用いて、教務協議会での審議内容が報告された。資材や作業員の不足によりS棟耐震補強工事が遅れており、早くとも11月末までは工事中であることが、重要事項として報告された。

(5) 編入学生の既修得単位の認定について

資料13により、高専からの編入生5名にそれぞれ70単位の単位認定を行ったことが報告された。

2. 入試委員会

(1) 平成27年度入学者数について

資料14により、今年度の入学者数が185名（留学生3名含む）であることが報告された。例年より浪人生（2浪以上）が多いこと、県別の入学者数の増減など、情報提供された。博士前期課程40名、後期課程3名の入学者があったことも併せて報告された。

(2) 入試実施にかかわる科目登録について

メールで依頼済の、入試実施に関わる科目登録及び家族に受験生がいるかの調査への回答依頼があった。家族とは3親等以内であると補足があった。

3. 学生生活委員会

(1) 平成26年度授業料未納による除籍について

資料15により、授業料未納により学類生5名が除籍になったことが報告された。

4. 第239回教育研究評議会報告(3月24日開催)

【審議事項】

(1) 平成27年度国立大学法人福島大学年度計画について

年度計画について報告された。コンプライアンスの充実、学長リーダーシップなどが強調されている。

(2) 学内諸規則等の制定について

戻り報告も含め、2件が制定された。

(3) 平成27年度予算配分(案)について

人件費を除くほとんどの予算項目が2/3程度となっており、厳しい予算編成を強いられていることが報告された。

学長の方針を大学運営に活かすための学長裁量経費(新区分)が新設されたが、理工学類として2,400万円(コンピューター演習室のPC更改、実践教育推進センターでの事業を発展継続)の申請を提出しているとの情報提供があった。

予算編成を担当している平成26年度の財務委員長より、実践科目実施経費や機器類の維持経費などについて削減可能額を個別に照会しており、取りまとめて学類の予算案を作成して教員会議に提示すると説明があった。

【報告事項】

(1) 学長参与の委嘱について

今野元学長・入野前学長・永倉元副学長の委嘱継続が報告された。

(2) 経営協議会学外委員選考について

学長が、経営協議会の候補者リスト(資料5)より林由美子氏を選任したことが報告された。

(3) 本学におけるIR機能の整備について

大学の情報を収集し分析するIR担当を学長の下に設けたことが報告された。IRの強化は学長の方針の一つでもある。

(4) 平成26年度期末監事監査実施計画について

監事監査について報告された。5月中旬に学類長等へのヒアリングが実施される。

(5) 教育研究費の取扱いに関する規程第14条第2項の修正について

教育研究費の不正使用が氏名公表となることに伴う規程の文言整理について報告された。

(6) 学内諸規則等の制定について

規則の制定について報告された。

(7) 平成27年度学生教育支援基金の交付について

教育支援基金の交付先が決定したことが報告された。グローバル人材養成に関連する授業への交付が多くなっている。

(8) 福島大学障がい学生支援室の設置場所等について

特任助教が採用され、総合教育センターに障がい学生支援室（アクセシビリティ支援室と名称変更して業務開始）が設けられたことが報告された。

(9) その他・来年度の会議スケジュールについて

評議会などの会議スケジュールが提示された。

5. 奨学寄附金等の受入れについて

寄付金など3件の受け入れが紹介された。

◆研究科委員会◆

[審議事項]

1. 教務委員会

(1) 平成27年度9月修了博士論文審査委員について

資料1に基づき、9月修了予定者の審査委員候補者が紹介され、了承された。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 学生の休退学について

休学4名、退学2名が報告された。

2. 入試委員会

(1) 共生システム理工学研究科学生募集要項について

教員の異動に伴う変更と、検定料の納入がコンビニ払いとなる点など、募集要項の主な変更点について報告された。

大学院の入試は、1次が8月21日（金）・22日（土）、2次が11月28日（土）であることが報告された。またセンター試験が2016年1月16日（土）・17日（日）、前期入試が2月25日（木）・26日（金）、後期入試が3月12日（土）であることが併せて報告され、日程確保の要請があった。

3. 学生生活委員会

(1) 平成26年度授業料未納による除籍について

教員会議資料15により、授業料未納により1名が除籍になったことが報告された。